



# 学校法人武蔵野大学 第二期中期計画

[2025年度～2029年度]

## 各設置校及び法人の第二期中期計画 [2025～2029 年度]

### 1. 武蔵野大学・大学院

#### 【中期計画】

18歳人口が2033年までは段階的に、2034年から2041年までは加速度的に減少することが明らかとなっている現在、2025年度からの5年間は、将来にわたっての大学・大学院の飛躍の基盤づくりのために、重要な改革の期間となる。教育研究の方法を追求し、その評価を国内外で高めることと、それによって得た成果に基づき、新たな市場を開拓することが必須である。これを実現すべく、本学では、ウェルビーイング社会の創造及び形成に貢献する人材の育成・輩出を目指して「スチューデント・サクセスの実現」を推進していく。ここで言う「スチューデント・サクセス」とは、個々の学生が目指す将来像（なりたい自分）や目標達成等の自己実現に向けて、成長実感、達成感、納得感が得られること（個としてのサクセス）、建学の精神に基づく本学での特色ある学びを通して、未来のウェルビーイング社会の創造及び形成に貢献するスキル、能力、マインドを修得すること（社会におけるサクセス）の2点を本学卒業時までには実現することを意味している。これに基づき、5つの推進項目（チャレンジA～E）の事業計画を遂行する。

具体的には、まずチャレンジAで達成すべき出口目標として「スチューデント・サクセスを実現する人材の輩出」（DP）を掲げ、それを実現するための教育（CP）を整備・促進するチャレンジB、本学のブランドに共鳴する入学者を安定的に確保するための入試施策（AP）としてチャレンジCを配置する。そして、スチューデント・サクセス実現のための諸施策を支えるため、キャンパス空間等の環境整備、多様性・公平性・包摂性を備えた組織・体制の整備を推進するチャレンジDを配置する。さらに、現状からの更なる飛躍に向けて大胆かつ抜本的な改革を行うべく、グランドデザインで柱建てされている新たな市場及び価値の創出を推進するチャレンジEを配置する。

#### ① チャレンジA ウェルビーイング社会の創造に貢献する Creative な実践者の輩出

響創的な学修を通じて Creative な実践者に必要な思考・スキルを修得し、スチューデント・サクセスを実現した人材の輩出を目指す。本チャレンジでは、そのための体制構築、指標・評価の整備、学修成果の可視化に重点を置き、取り組む。

スチューデント・サクセスを実現した人材の輩出に向けた体制構築としては、スチューデント・サクセス及び社会で求められる能力をふまえた全学・各学科等3ポリシーの点検、再構築を行う。また、ウェルビーイング社会の創造に貢献する人材輩出を掲げる本学への企業等の理解を促進するとともに、社会で活躍する卒業生との連携促進施策を進める。

指標・評価については、進路・就職・資格取得等の成果に関わる従前の方法を見直し、客観的指標のみならず学生個人の希望実現度といった主観的指標に基づく評価の導入を含め

て再検討を行い、整備する。在学時や卒業時における個人の満足度、推奨度、成長実感の度合いを反映させた、多角的な指標・評価を取り入れる。併せて、世界のウェルビーイングに貢献する人材の指標化を行い、それに基づく出口の質保証を徹底していく。

学修成果の可視化としては、未来の世界を主体的に創造する能力（アクティブな知）の修得の指標化や学修成果（ポートフォリオ、卒論など他者に説明できる自身の能力・自信の根拠となるもの）の成績評価の方針策定を行うとともに、それらを体系的に管理、活用できるシステムの構築や施策を検討し、展開する。

以上を学科の特性に合わせた教職員一体型のキャリア教育と就職支援体制を確立しながら推進していく。

## ② チャレンジB スチューデント・サクセスを実現する響創的な学修の推進

建学の精神を具現化する人格教育を推進するため、各教職員を通しての初年次からの自校教育の充実を図り、大学礼拝、新入生築地参拝等、建学の理念への理解を深める取組を推進する。また、各学科（主専攻）での学びに加えて、仏教副専攻（令和6年度設置）を全学的に推進し、建学の精神の根幹である仏教を「学（学問）」と「行（実践）」の両面から学び、現代社会の直面する諸課題に向き合う「智慧」と、生きとし生けるものへの「慈悲」をそなえた人材の育成を目指す。

その上で、スチューデント・サクセスに向けて学修者本位の豊かで生き生きとした学びを実現するため、「学修ジャーニー（学生の入学前から卒業までの期間における学修〔目標設定、学修内容、学修成果など〕過程・履歴と、それに対応した指導の過程・履歴）」と「響学スパイラル〔問い、考動し、カタチにして、見つめ直す〕」に基づくカリキュラム構築と授業設計を行う仕組みを確立する。また、SRMを活用した個々の学生の学修・活動・志向等のプロセス把握を進め、学修支援・キャリア支援・生活支援の体制を構築し、学生ひとりひとりのスチューデント・サクセスの実現を目指す。

## ③ チャレンジC MUのブランドに共鳴する学生の安定的な確保

スチューデント・サクセスを実現した学生やそれに向けて成長していく学生ストーリー（ジャーニー）及び、響創的な学修メソッドの教育事例等を戦略的に広報展開し、武蔵野大学への志願度の向上を図る。

スチューデント・サクセスをキーワードとした入試広報を通じて、志願者を推薦型選抜（総合型や指定校推薦等）や一般選抜で獲得するための入試制度及び実施体制の見直し・改善を行う。

大学の規模を維持するために、特に一般選抜の志願者数を増加するための施策の検討・実施を行う。

なお、これまでの取組で不足していた、中学校・高校、予備校、受験生の保護者に対しても充実した広報展開を行う。関係強化高校の設定、訪問・ガイダンス・広報物送付等の広報活動による関係強化を図る。高校・予備校との広報活動について一元管理できるデータベー

スを構築、教職員で共有し、相互に連携した広報活動を行う。

中高大接続策としては、同一法人校との接続強化、龍谷総合学園の高校との関係強化、大学の教育コンテンツを活かした高大接続プログラムの実施校の増加に取り組む。

#### ④ チャレンジD 多様な学生・教職員が集い、Creative な実践者を育む体制の整備

世界のウェルビーイングの向上に貢献する大学として、多様な学生・教職員が、差別されることなく尊重され、互いに認め合い協働できるよりよい体制と環境を再構築する。多様性 (Diversity)・公平性 (Equity)・包摂性 (Inclusion) の推進は、その基盤である。

多様な価値観や異文化に触れる中で、固定観念にとらわれない高度な創造性が生まれる。学生のスチューデント・サクセス実現に向けた個別的で総合的な学生支援の体制強化、多様な学生生活活動の全学的支援、専門性や国籍文化の多様な学生・教職員が集う体制づくり・キャンパス空間整備を促進する。

#### ⑤ チャレンジE 新たな教育市場と価値創出

グローバル市場における価値の創出に向け、アジアの仏教国などの海外市場を開拓し、グローバル市場で競争力を持つ研究領域の拠点化、新たな社会課題解決に向けたグローバル・オープンイノベーションによる研究を推進する。

また、時代、社会のニーズを先取りした新たな学びの提供を目指し、学部学科・研究科等の改組や通学・通信の一体化を見据えた教育組織を検討するとともに、メタバースキャンパス、オンラインコンテンツ等を活用した教室リソースに依存しない教育形態を検討する。さらには、社会人の新たな学びの提供、地域社会との連携強化による多様な学びの場やコミュニティを創出する。各学科等においては特色ある取組の展開を通じて、各学科等における価値 (ブランド) の創出を目指す。

通信教育部においては新たな教育システムを構築し、①建学の精神に基づきウェルビーイングな社会の構築に資する知識・教養を得られる学修機会、②円滑に学修を開始・継続し、卒業できるための学修支援、③「つながり」を感じられるプラットフォームを提供する。

## 【武蔵野大学・大学院】

### 第一次長期計画推進事項①：チャレンジA ウェルビーイング社会の創造に貢献するCreativeな実践者の輩出

#### 第二期中期計画：スチューデント・サクセスを実現した人材の輩出

事業計画（2025～2029年度）：スチューデント・サクセス及び社会で求められる能力をふまえた全学・学科3ポリシーの構築

事業計画（2025～2029年度）：満足度・推奨度が高く、成長実感が高く、自信をもった人材の輩出

事業計画（2025～2029年度）：希望した進路・就職・資格取得・受賞の実現

#### 第二期中期計画：出口での質保証の徹底と学修成果の可視化・利活用

事業計画（2025～2029年度）：世界のウェルビーイングに貢献する人材の指標化（DP2の再構築）とそれに基づく質保証の徹底

事業計画（2025～2029年度）：未来の世界を主体的に創造する能力（アクティブな知：DP1・DP3・DP4）の修得

事業計画（2025～2029年度）：学修成果（ポートフォリオ、卒論、卒業制作、学会発表、作品など、他者に説明できる自身の能力・自信の根拠となるもの）の可視化

#### 第二期中期計画：社会で活躍する卒業生との連携促進

事業計画（2025～2029年度）：本学に関する企業等の理解促進

事業計画（2025～2029年度）：卒業生の組織化と活躍の把握及び卒業生の学びの支援体制の構築

### 第一次長期計画推進事項②：チャレンジB スチューデント・サクセスを実現する響創的な学修の推進

#### 第二期中期計画：建学の精神を具現化する人格教育の推進

事業計画（2025～2029年度）：各教職員を通しての人格教育の推進

事業計画（2025～2029年度）：大学礼拝、新入生築地参拝等、全学的な建学関連の取り組みの一層の充実

事業計画（2025～2029年度）：仏教副専攻の全学的な推進

#### 第二期中期計画：学修ジャーニーと響学スパイラルに基づくカリキュラム構築と授業設計

事業計画（2025～2029年度）：学修ジャーニーと響学スパイラルを活用した豊かで生き生きとした教育の設計

事業計画（2025～2029年度）：学力格差の拡大に対応した入学前・初年次教育の充実と学修支援

事業計画（2025～2029年度）：AI、ICTなどの教育への効果的な活用

事業計画（2025～2029年度）：各学科でのグローバルな課題解決への取組

#### 第二期中期計画：スチューデント・サクセスを実現するための学修支援・キャリア支援・生活支援の構築

事業計画（2025～2029年度）：学修ジャーニーに基づく学修と学修支援を支えるSRMの導入

事業計画（2025～2029年度）：教育と連動した学生支援体制の構築

事業計画（2025～2029年度）：IRデータの分析に基づく、教育指導、施策の検討実施

## 【武蔵野大学・大学院】

### 第一次長期計画推進事項③：チャレンジC MUのブランドに共鳴する学生の安定的な確保

#### 第二期中期計画：APを満たす学生を確保するための入試改革の推進

事業計画（2025～2029年度）：一般選抜受験者を増やすための施策の検討実施

事業計画（2025～2029年度）：総合型選抜、指定校推薦等の改革推進

事業計画（2025～2029年度）：入学定員に基づく入学者数管理の徹底

#### 第二期中期計画：スチューデント・サクセスを基軸とした入試広報の展開

事業計画（2025～2029年度）：学生ストーリー（ジャーニー）の効果的な広報展開

事業計画（2025～2029年度）：響創的な学修メソッドについての広報展開

事業計画（2025～2029年度）：中学校・高校、予備校、受験生保護者に対する戦略的な広報展開

#### 第二期中期計画：戦略的な中高大接続策の検討と実施

事業計画（2025～2029年度）：同一法人内の中高との接続強化

事業計画（2025～2029年度）：龍谷総合学園系列校との接続強化

事業計画（2025～2029年度）：本学の教育コンテンツを活かした戦略的な高大接続施策の検討実施

### 第一次長期計画推進事項④：チャレンジD 多様な学生・教職員が集い、Creativeな実践者を育む体制の整備

#### 第二期中期計画：D E I の推進

事業計画（2025～2029年度）：ジェンダーの多様性と平等を意識した教育と大学運営

事業計画（2025～2029年度）：女性管理職の比率向上

事業計画（2025～2029年度）：障害者差別解消法に基づく就学上の合理的配慮の適正化

#### 第二期中期計画：多様な学生への支援体制の整備

事業計画（2025～2029年度）：授業のみならず、学則や各部門での多言語対応の推進

事業計画（2025～2029年度）：留学生支援及び海外への留学支援の充実

事業計画（2025～2029年度）：学生生活支援に関するセンター設置

事業計画（2025～2029年度）：スチューデント・サクセスを実現する教職員の支援体制及び評価の仕組みの整備

#### 第二期中期計画：教職員の多様性の促進

事業計画（2025～2029年度）：働き方改革の検討実施

事業計画（2025～2029年度）：大学設置基準等の改正への対応

事業計画（2025～2029年度）：海外で学位取得した教員の採用促進

#### 第二期中期計画：キャンパス空間の整備と充実

事業計画（2025～2029年度）：多様性に配慮したキャンパス空間の整備と活用

事業計画（2025～2029年度）：学生のキャンパスにおける居住性の向上

## 【武蔵野大学・大学院】

### 第一次長期計画推進事項⑤：チャレンジE 新たな教育市場と価値創出

#### 第二期中期計画：グローバル市場における価値の創出

事業計画（2025～2029年度）：グローバル市場で競争力をもつ研究領域の拠点化

事業計画（2025～2029年度）：新たな社会課題解決に向けたグローバル・オープンイノベーション（による研究）の推進

事業計画（2025～2029年度）：アジアの仏教国などの海外市場の開拓

#### 第二期中期計画：時代、社会のニーズを先取りした新たな学びの提供

事業計画（2025～2029年度）：社会人の新たな学びの提供

事業計画（2025～2029年度）：地域社会との連携強化による多様な学びの場やコミュニティの創出

事業計画（2025～2029年度）：学部学科・研究科等の改組や通学・通信の一体化を見据えた教育組織の検討

事業計画（2025～2029年度）：メタバースキャンパス、オンラインコンテンツ等を活用した教室リソースに依存しない教育形態の検討

#### 第二期中期計画：通信教育部の新たな教育システムの構築

事業計画（2025～2029年度）：建学の精神に基づきウェルビーイングな社会の構築に資する知識・教養を得られる学修機会の提供

事業計画（2025～2029年度）：円滑に学修を開始・継続し、卒業できるための学修支援の提供

事業計画（2025～2029年度）：「つながり」を感じられるプラットフォームの提供

#### 第二期中期計画：各学科等における価値（ブランド）の創出

事業計画（2025～2029年度）：各学科等における特色ある取組みの展開による価値の創出

## 2. 武蔵野大学中学校・高等学校

### 【中期計画】

仏教精神に基づく「人格の向上」を教育活動の中心に据えて、以下の3つの施策を展開し教育活動を進めることで、大学附属校としての役割と、難関大学に挑戦する役割の2つの側面を両立させる。そして、先進的な教育に積極的に挑戦する姿勢を保ち続ける。

- ・ 「世界の幸福とは何なのか」を考え続けるために必要な教育プログラムの充実
- ・ 真なるグローバルな人材育成のための教育プログラムの充実
- ・ サイエンスを身につけるための教育プログラムの充実

共学進学校として、増加、多様化する生徒に対応した教育施設設備の充実化を図る。

教員が改革推進に対して一致団結して取り組む体制を確立させ、組織の活性化、並びに目的達成のために必要な教育コンテンツとスキーム作成ができる人材の開発・育成を進め、募集定員の充足、研究成果をはじめとする生徒の活動実績、大学合格実績の創出と、その実践の頒布を目指す。

## 【武蔵野大学中学校・高等学校】

第一次長期計画推進事項①：仏教精神に基づく「人格の向上」を教育活動の中心に据える

第二期中期計画：「世界の幸福とは何なのか」を考え続けるために必要な教育プログラムの充実

事業計画（2025～2029年度）：教材の見直しと選定

事業計画（2025～2029年度）：研究活動等における指導力向上

事業計画（2025～2029年度）：施設・設備の見直し

第一次長期計画推進事項②：附属校としての役割を果たしながらも、グローバル・サイエンス教育の充実を図り、21世紀において先進的な教育・学校事例を社会に提供し続けるリーディングスクールとして変革し続けていく

第二期中期計画：真なるグローバル人材育成のための教育プログラムの充実

事業計画（2025～2029年度）：コースの再編と具体的なカリキュラムの構築

事業計画（2025～2029年度）：国公立・最難関私立及び海外大学への指導強化

事業計画（2025～2029年度）：教員の英語四技能への対応と各種試験の研究

事業計画（2025～2029年度）：各授業の品質と大学進学指導力の向上

事業計画（2025～2029年度）：短期・長期留学制度の充実と海外留学生の受け入れ促進

事業計画（2025～2029年度）：校内行事の整理・削減と一貫性の構築

事業計画（2025～2029年度）：武蔵野大学との高大接続の推進

第二期中期計画：サイエンスを身につけるための教育プログラムの充実

事業計画（2025～2029年度）：理数系教科の指導力の向上

事業計画（2025～2029年度）：最先端コンテンツを導入した授業実施のための外部企業との連携

事業計画（2025～2029年度）：外部学力テスト結果の分析及び授業での検証

事業計画（2025～2029年度）：学級運営力・授業力向上に向けての各種研修会への参加

事業計画（2025～2029年度）：先進的な教育のためのハード・ソフトの構築

事業計画（2025～2029年度）：国公立・最難関私立への指導ができる体制づくり

事業計画（2025～2029年度）：ICT教育のための継続的な学習環境の整備

事業計画（2025～2029年度）：武蔵野大学との高大接続の推進

第一次長期計画推進事項③：目的達成のために必要な教育コンテンツ・スキーム・人材の開発・育成を進め、募集定員の充足、研究成果をはじめとする生徒の活動実績、大学合格実績の創出と、その実践の頒布

第二期中期計画：教員が改革推進に対して一致団結して取り組む体制の確立

事業計画（2025～2029年度）：人材活用による組織力の向上

事業計画（2025～2029年度）：プロジェクトでの課題処理による複数の次世代リーダーの育成

事業計画（2025～2029年度）：学外広報の強化による志願者増

第一次長期計画推進事項④：組織の活性化と職場環境改善の推進

第二期中期計画：生徒増に対応した教職員の充実及び適切な配置

事業計画（2025～2029年度）：共学進学校としての進路指導ができる専任教員の充実

事業計画（2025～2029年度）：教員研修の実施

### 3. 千代田中学校・高等学校

#### 【中期計画】

- ・ 仏教精神に基づく「人格の向上」を教育活動の中心に据えて、世界の幸せをカタチにすることを旨とした研究活動及び教育活動を推進するため、研究活動等における指導力の向上や施設・設備の整備等の施策を推進する。
- ・ 前身である千代田女学園設立者の島地黙雷先生が目指された「国際教養人の育成」を基に、国を越えた人類レベルで世界の幸せを追求するための体制構築及びそれをカタチにするため進路指導の充実を実現し、難関大学への進学者数を増加させる。そして、新たな価値の創造と実現を目指した実学を重視するために、教育環境構築の施策を推進する。
- ・ 目的達成のために必要な教育コンテンツとスキームの開発並びに募集定員の充足、研究成果をはじめとする生徒の活動実績、大学合格実績の創出と、その実践の頒布の実現のため、教員の教養力の育成と改革並びに組織体制の確立のための施策と、戦略的な広報活動を展開するための施策を推進する。
- ・ 法人全体ベースでの組織マネジメントを構築するため、実効的な組織運営とガバナンスを強化する人員・組織等にかかわる施策を推進する。

## 【千代田中学校・高等学校】

<p>第一次長期計画推進事項①：仏教精神に基づく「人格の向上」を教育活動の中心に据える</p>	
<p>第二期中期計画：世界の幸せをカタチにすることを旨とした研究活動及び教育活動の推進</p>	
<p>事業計画（2025～2029年度）：教材の見直しと選定</p>	
<p>事業計画（2025～2029年度）：研究活動等における指導力向上</p>	
<p>事業計画（2025～2029年度）：施設・設備の見直し</p>	
<p>第一次長期計画推進事項②：前身である千代田女学園設立者の島地黙雷先生が目指された「国際教養人の育成」を基に、国を越えた人類レベルで世界の幸せを追求するための体制構築及びそれをカタチにするために必要な環境としての難関大学への進学を可能にする指導の充実</p>	
<p>第二期中期計画：国内外の難関大学への進学者数（進学率）増加</p>	
<p>事業計画（2025～2029年度）：国公立大学進学への指導力強化</p>	
<p>事業計画（2025～2029年度）：外部機関との連携による教科指導力の向上</p>	
<p>事業計画（2025～2029年度）：進路指導室の整備</p>	
<p>第二期中期計画：新たな価値の創造と実現を目指した実学を重視した教育環境の構築</p>	
<p>事業計画（2025～2029年度）：コースの新設とカリキュラムの刷新</p>	
<p>事業計画（2025～2029年度）：研究活動のための施設・設備の整備</p>	
<p>事業計画（2025～2029年度）：国内外の専門機関との連携並びに外部人材との協働</p>	
<p>第一次長期計画推進事項③：目的達成のために必要な教育コンテンツとスキームの開発並びに募集定員の充足、研究成果をはじめとする生徒の活動実績、大学合格実績の創出と、その実践の頒布</p>	
<p>第二期中期計画：教員の教養力の育成と改革並びに組織体制の確立</p>	
<p>事業計画（2025～2029年度）：組織体制の強化</p>	
<p>事業計画（2025～2029年度）：教員の指導力育成と次世代リーダーの育成</p>	
<p>第二期中期計画：戦略的な広報活動の展開</p>	
<p>事業計画（2025～2029年度）：学外広報の強化</p>	
<p>事業計画（2025～2029年度）：外部メディアとの関係構築</p>	
<p>事業計画（2025～2029年度）：広報機材の整備</p>	
<p>第一次長期計画推進事項④：法人全体ベースでの組織マネジメントの構築</p>	
<p>第二期中期計画：実効的な組織運営とガバナンスの強化</p>	
<p>事業計画（2025～2029年度）：人員配置の整理</p>	
<p>事業計画（2025～2029年度）：役職と責任の明確化</p>	
<p>事業計画（2025～2029年度）：事務室業務の整理</p>	

## 4. 武蔵野大学附属幼稚園

### 【中期計画】

本園ではこれまで、豊かな自然環境と大学附属園の強みを活かしながら、「あそび」を通じた学びを行ってきており、今後は教育理念を堅持しつつ、社会・地域ニーズを捉えた新たな特色ある教育プログラムの構築及び展開、教育学部幼児教育学科との更なる連携、並びに預かり保育や課外活動の充実等を積極的に推進することで、保護者ニーズに合致した魅力ある園づくりを目指す。

また、園と保護者との円滑なコミュニケーションは教育活動に不可欠の要素であることから、各種連絡ツールを活用した意思疎通の充実化、及び保育の「見える化」を更に拡充していく。また、幼稚園は地域コミュニティの一員であるとの自覚を強く持ち、地域住民や関連施設とも各種の幼稚園活動を通じて交流を深めることも重視していく。

施設設備面では、園舎の継続的な改修、園庭遊具等の更新など、園児が快適に、そして安心安全に過ごせる環境の充実を図っていく。

## 【武蔵野大学附属幼稚園】

第一次長期計画推進事項①：園児が健やかに成長できる教育環境を整備する	
第二期中期計画：教育理念に基づく魅力的な教育プログラムの推進	
事業計画（2025～2029年度）：魅力的な教育プログラムの展開	
事業計画（2025～2029年度）：課外活動の充実	
事業計画（2025～2029年度）：預かり保育の充実	
第一次長期計画推進事項②：幼稚園の円滑な運営	
第二期中期計画：園児及び保護者との信頼関係構築	
事業計画（2025～2029年度）：建学の精神の涵養及び教育目標のさらなる理解促進	
事業計画（2025～2029年度）：保護者とのコミュニケーションスキルの向上	
事業計画（2025～2029年度）：子どもの育ちの「見える化」を推進	
第一次長期計画推進事項③：入園者の確保	
第二期中期計画：安定して園児を確保できる体制の構築	
事業計画（2025～2029年度）：広報活動の充実	
事業計画（2025～2029年度）：未就園児クラスの充実	
事業計画（2025～2029年度）：登降園インフラの拡充	
第二期中期計画：施設設備等の環境整備	
事業計画（2025～2029年度）：園舎・施設の整備	

## 5. 武蔵野大学附属有明こども園

### 【中期計画】

令和2（2020）年に設置した有明こども園は、開園から5年を経過し、第一期中期計画が設置構想のプランを実行する段階であったとすれば、第二期中期計画はその反省を踏まえ、社会情勢や地域のニーズに合わせて自らを変革していく段階である。

園児や保護者のニーズの変化に対応しながら、教育理念である「響き合う教育・保育」を実践できるよう、職員の質向上と魅力あるプログラム展開を図る。教育的な特色である「わくわくプログラム」では武蔵野大学教員や外部の専門家と連携し、園児が多種多様な体験と知的刺激が得られるよう、内容等を継続的に検討し、改善を図る。

地域の子育て支援も認定こども園の役割の一つであり、幼児教育施設では珍しい図書室「えほんのもり」を中心とした子育て支援イベントの開催などを通じて地域貢献を果たす。

湾岸地区は人口が横ばいに推移しているものの転出入が多いため、周辺の開発計画や最新の人口動態を把握し、人口減にも対応した園児募集等の施策を推進する。

## 【武蔵野大学附属有明こども園】

<p>第一次長期計画推進事項①：大学の様々な学部と連携し園独自のカリキュラムを構築することによる園児がわくわくし、学びの楽しさを感じられる教育・保育の実践</p>	
<p>第二期中期計画：園児と保護者の満足度が高まる教育・保育の質の向上</p>	
<p>事業計画（2025～2029年度）：園内研修の充実及び園外研修の積極的受講</p>	
<p>第二期中期計画：園児が自発的に遊び込み、生きる力を身につけられるよう、わくわくプログラムを実施するなどの、教育・保育環境の充実</p>	
<p>事業計画（2025～2029年度）：様々な学部や外部の専門家と連携し、園児が多方面にわたる事象に興味をもち、視野を広げていけるプログラムの実施と環境の整備</p>	
<p>第一次長期計画推進事項②：子育て支援を中心に様々な地域貢献を実施する地域に根付いた園の実現</p>	
<p>第二期中期計画：子育て支援プログラムの実施等による、地域の子育て支援拠点機能の向上</p>	
<p>事業計画（2025～2029年度）：子育てや絵本の読み聞かせに関する講習会等の積極的な実施及びえほんのものの図書館機能強化</p>	
<p>第一次長期計画推進事項③：次世代を担う人材育成への貢献</p>	
<p>第二期中期計画：教育実習生やボランティアの積極的な受け入れ</p>	
<p>事業計画（2025～2029年度）：実習生やボランティアへの指導をとおした人材育成と、指導にあたる職員の指導力の育成</p>	
<p>第一次長期計画推進事項④：安定した円滑な運営を行うための園児募集</p>	
<p>第二期中期計画：2027年度以降の定員充足</p>	
<p>事業計画（2025～2029年度）：1号認定園児の継続的な定員充足</p>	

## 6. 法人

### 【中期計画】

#### ①建学の精神の堅持及び未来への継承

本学の教育研究活動の根幹である「建学の精神」を引継ぎつつ、時代の潮流に即した新たな教育活動や仏教精神を体感する機会を検討し、創出することにより、「建学の精神」の堅持及び未来への継承に向けた体制・取り組みを強化していく。

#### ②法人経営と教学の健全なガバナンス体制の構築・維持と執行体制の強化

令和7年4月の改正私立学校法の施行及び常務理事体制の見直し等に伴い、健全なガバナンス体制の維持及び執行体制の強化に向けた対応（評議員会の実質化、内部統制システムの整備、常勤監事及び会計監査人の機能化等）を実施する。併せて、大学を中心とした教学ガバナンス体制を整備し、法人及び各設置校のガバナンス・コードの実質化を図る。

#### ③組織の活性化

長期人員計画に基づき、各部署の実態掌握を強化した上で、事務局各部署に適正人員を配置していく。また、適材適所とキャリア構築を意識した人事運営とワーク・ライフ・バランスにも配慮した働き方制度を構築することより、「やりがい」と「組織の帰属意識の向上」を図り、活力ある組織を構築していく。

#### ④戦略的な広報展開

各設置校及び法人の認知度を向上させるため、法人広報戦略に基づき広報活動を推進する。法人広報戦略では、法人広報と入試広報を一体的に推進し、誰に何を何で伝えるかを明確にして、重要施策の選択と集中により重点的かつ効果的な広報を展開する。

#### ⑤創立100周年記念事業の成功を次の10年50年への長期的な展望の起点とする

次の10年50年に向けた土台を築くため、創立100周年記念事業の終了後に各プロジェクトや各設置校の視点から効果検証を行い、ステークホルダーを巻き込んだインフラ整備や各種プロジェクトの発展的な施策展開等を推進し、創立100周年記念事業の取組を次の長期的な展望の起点とする。

#### ⑥卒業生の組織化とロイヤリティ向上

同窓会が本法人を支える重要なステークホルダー・応援団であると認識し、卒業生・同窓会員のニーズを十分に踏まえて、母校への関心継続を図り、同窓会への誘因を構築していく。活力ある同窓会は、一朝一夕には出来ないことを念頭に粘り強く卒業生へのアプローチを図る。

#### ⑦財政基本理念に基づく安定的な財政基盤の確立

学校法人武蔵野大学財政基本理念に基づき、限られた収入の中で効果的かつ継続的に予算を執行するために、財政分岐点指標を順守することにより、財政状況の健全性を検証しつつ、予算構

築と執行を適切に行う。併せて、資産活用を含めた新たな収入源の確保及び多様化を図ることで、安定的な経営基盤を構築していく。

#### **⑧危機管理体制の確保**

学校法人武蔵野大学危機管理マニュアルに基づき、法人及び各設置校の災害発生時及び事件発生時における初動体制を速やかに構築できる体制を整えるため、各教職員が決められた体制に基づいて行動をするための行動指針を策定する。

#### **⑨教育研究基盤を強化する計画的な施設整備**

持続可能性を確実にする法人運営を実現するため、武蔵野キャンパスは、令和9年度の新大学図書館の完成をはじめ、武蔵野キャンパスマスタープランに沿って、老朽化した施設設備の整備を計画的に行い、教育研究基盤の強化を図る。有明キャンパスは、長期施設設備計画に基づき計画的な更新を行い、開設当初の教育研究環境の維持を図る。千代田キャンパスは、高度な研究活動ができる環境整備を行う。併せて、学納金及び補助金以外の収入源を確保するため、土地・建物の有効活用施策を検討する。加えて、建学の精神の堅持及び未来への継承の実現を図るため、仏法を体感できる空間を新設する。

#### **⑩DX推進による各設置校及び法人の現在価値の向上や新たな価値創出**

学校法人武蔵野大学DX推進基本計画詳細に基づき、各部門のDX施策を着実に推進する。創立100周年記念事業SICプロジェクトで開発したシステム・ツールを通信教育部の変革やリカレント教育の展開に活用する。

## 【法人】

### 第一次長期計画推進事項①：建学の精神の堅持及び未来への継承

#### 第二期中期計画：法人・教学一体の推進体制の構築

事業計画（2025～2029年度）：仏教関連業務を担う組織・人員体制の再構築

事業計画（2025～2029年度）：SD、FDに「建学の精神」項目を定番化

事業計画（2025～2029年度）：学内外向け仏教関係発信力強化への取組

事業計画（2025～2029年度）：「見える化」に向けた具体的施策の立案・推進

### 第一次長期計画推進事項②：法人経営と教学の健全なガバナンス体制の構築・維持と執行体制の強化

#### 第二期中期計画：ガバナンス体制の整備

事業計画（2025～2029年度）：私立学校法改正に対応した理事・評議員・監事等の体制整備・運営の安定化

事業計画（2025～2029年度）：大学・中高等設置校の教学ガバナンスの再構築

### 第一次長期計画推進事項③：組織の活性化

#### 第二期中期計画：新人事制度の定着化

事業計画（2025～2029年度）：資格別研修プログラムの体系化・制度化

事業計画（2025～2029年度）：多面的評価を導入した人事評価制度の改革

#### 第二期中期計画：事務局各部署の適正人員数配置に基づく長期人事計画の策定・運用

事業計画（2025～2029年度）：部署別人事の実態掌握強化

事業計画（2025～2029年度）：非常勤嘱託、派遣職員を含めた総人員計画の策定

事業計画（2025～2029年度）：HRMによる職員力の掌握と適正な人員配置

事業計画（2025～2029年度）：平時におけるリモートワークの制度化

#### 第二期中期計画：目的別研修の中期計画に基づく実施

事業計画（2025～2029年度）：ハラスメント、コンプライアンス等基本研修

事業計画（2025～2029年度）：AI等情報系、外国語、防火防災等スキル研修

### 第一次長期計画推進事項④：戦略的な広報展開

#### 第二期中期計画：法人広報戦略に基づく広報展開及び広報体制の強化

事業計画（2025～2029年度）：法人広報戦略に基づく広報活動の実施と検証

事業計画（2025～2029年度）：認知度向上施策の実施と検証

事業計画（2025～2029年度）：各設置校の入試広報と一体化した広報戦略の展開

事業計画（2025～2029年度）：パブリシティの強化による広告とパブリシティの連動性の質向上

## 【法人】

第一次長期計画推進事項⑤：創立100周年記念事業の成功を次の10年50年への長期的な展望の起点とする

第二期中期計画：100周年記念事業から継続する事業の発展的展開

事業計画（2025～2029年度）：S I Cの成果に基づく教学の発展的事業展開

事業計画（2025～2029年度）：データセンソリウムの開発及びMUCVセンター・ミュージアムの開設

事業計画（2025～2029年度）：カンファ・ツリー・ヴィレッジPJの成果物の発信と継続的な研究課題への発展

第一次長期計画推進事項⑥：卒業生の組織化とロイヤリティ向上

第二期中期計画：母校への関心を継続できる情報発信力の強化

事業計画（2025～2029年度）：HP及びSNSによる卒業生向けの情報発信強化及び連絡先情報等の更新データの集約

事業計画（2025～2029年度）：双方向型コミュニケーションへの転換

事業計画（2025～2029年度）：同窓会の活性化に向けた若年コア会員の育成

事業計画（2025～2029年度）：同窓会員の母校への関心持続に向けた企画推進

事業計画（2025～2029年度）：新しいコンセプトでの校友会連合会の検討

第一次長期計画推進事項⑦：財政基本理念に基づく安定的な財政基盤の確立

第二期中期計画：財政分岐点指標に基づく財政の安定

事業計画（2025～2029年度）：長期財政計画の継続的更新（10年間財政計画）

事業計画（2025～2029年度）：長期財政シミュレーションによる財政状態の検証

第二期中期計画：法人収入構造の改革

事業計画（2025～2029年度）：資金運用の多様化

事業計画（2025～2029年度）：固定資産の有効活用の検討

第一次長期計画推進事項⑧：危機管理体制の確保

第二期中期計画：危機管理の有効性を確保した災害対応力の向上

事業計画（2025～2029年度）：危機管理マニュアルの継続的更新

事業計画（2025～2029年度）：常に携行できる危機管理マニュアル要約版の作成

事業計画（2025～2029年度）：学生、生徒、園児の安全を最優先にした危機発生時の教職員行動指針の策定

事業計画（2025～2029年度）：訓練・演習等による実践力の練磨

## 【法人】

### 第一次長期計画推進事項⑨：教育研究基盤を強化する計画的な施設整備

第二期中期計画：武蔵野キャンパスの長期施設設備計画に基づく施設整備

事業計画（2025～2029年度）：武蔵野キャンパスマスタープランの策定

事業計画（2025～2029年度）：武蔵野キャンパス大学図書館の建替

第二期中期計画：有明キャンパスの長期施設設備計画に基づく施設整備

事業計画（2025～2029年度）：1号館・2号館・3号館の設備更新

事業計画（2025～2029年度）：4号館の契約更新に併せた施設拡充の検討

第二期中期計画：千代田キャンパスの長期施設設備計画に基づく施設整備

事業計画（2025～2029年度）：計画に基づく環境整備

### 第一次長期計画推進事項⑩：DX推進による各設置校及び法人の現在価値の向上や新たな価値創出

第二期中期計画：DX推進基本計画詳細に基づくシステム構築と運用開始

事業計画（2025～2029年度）：メタバースキャンパスの開設、機能拡充

事業計画（2025～2029年度）：通信教育部在学生情報のSRMへの移行

事業計画（2025～2029年度）：通学制学生情報のSRMへの移行

事業計画（2025～2029年度）：学修コンシェルジュサービスの実用化

事業計画（2025～2029年度）：デジタル・ラーニング・サービスの実用化

事業計画（2025～2029年度）：生成AI等を活用した業務効率化、問い合わせ対応等のサービス向上

事業計画（2025～2029年度）：通信教育部から通学制大学院・学部・学科等への対象範囲の拡大

事業計画（2025～2029年度）：リカレント・リスキリング事業における本格的活用

事業計画（2025～2029年度）：法人業務のDX化を支えるインフラ整備（HRMシステム、ワークフローシステムの導入等）

事業計画（2025～2029年度）：教学システムの更新